

埼玉県教育委員会「チームぴかぴか」

1 趣旨

特別支援学校高等部の卒業時点で一般就労ができなかった生徒や早期に離職した卒業生を県教育委員会が最長1年間、会計年度任用職員として雇用(週5日・6時間勤務)し、一般就労に必要な能力を「働きながら学ぶ」もの。

2 設置状況

「チームぴかぴか南部」(特別支援教育課の隣室)

平成26年度開設、定員12名、事務系作業が中心。

「チームぴかぴか北部」(県立総合教育センター内)

平成28年度開設、定員12名、清掃・環境整備作業。

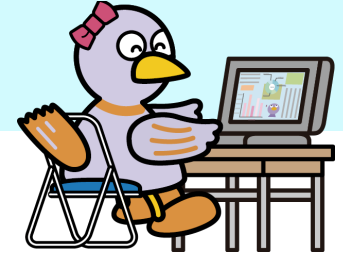
3 支援体制

各拠点4名の支援員を配置(会計年度職員・再任用職員)

4 採用プロセス

1月に募集要項を県内特別支援学校に通知するとともに、希望のある高等学校、支援機関等に送付。採用実習、書類選考、面接により決定(欠員があれば年度内でも採用)。

業務内容



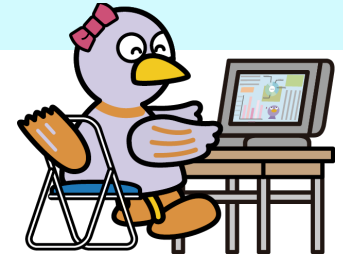
1. チームぴかぴか南部

- ・ 県庁内各課（知事部局を含む）から受注するゴム印押し、封入、文書仕分け、シュレッダー処理、名刺作成等を受注。
- ・ 郵便物の集配等の作業。
- ・ リサイクル関係業務（ゴミ箱に入れる新聞折り、シュレッダー文書の封筒から使用済み切手の切り出し、コピー用紙の袋を再利用した庁舎内売店の買物袋の作成等）
- ・ 庁舎内のほか、近くにある近代美術館や県立高校等に出向いて、シュレッダー等の業務を定期又はスポットで実施。

2. チームぴかぴか北部

- ・ 館内外の清掃、植栽、除草。
- ・ 清掃は別の会計年度任用職員が行なっているため、対象外の部分を清掃。
- ・ センター農場の除草も行う。

職場の状況



チームぴかぴか南部



朝礼



資料の封入作業



昼食の様子



メールの集配

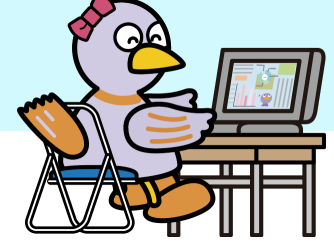


ポスター折り



終礼

「働きながら学ぶ」仕組み



1. アセスメントの開始

選考・面接結果の活用、特別支援学校・支援機関からの情報収集・連携、
専門家の助言（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士）



2. 「チームぴかぴか」での勤務、職業スキルの習得

日常業務から職業スキルを把握、生活ノートで基本的な生活習慣を
把握、研修・面談を通じて課題・就労意欲を把握



3. 職業マッチング

生活全体を見通して上で「本人のやりたい仕事」を探求



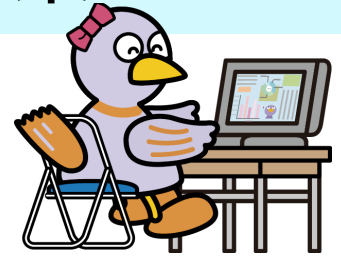
4. 企業でのスキルアップ研修

職場見学、面接、巡回指導、会社との情報交換等



5. 就労（トライアル雇用等）・定着支援

障害者雇用促進に向けたモデル事業



1. 特別支援学校在校生の実習受入れ

特別支援学校在校生の学びの場として、令和3年度には30件以上の実習を受け入れている。

特別支援学校の高等部1～3年生の実習を受け入れるほか、普通高校の生徒で障害者手帳を持っている生徒についても、長期休みを使って実習を受け入れている。

2. 教職員の研修、保護者・企業等見学の受入れ

学校現場のキャリア教育・職業教育・進路指導の充実のため、特別支援学校の教員を対象に研修を受け入れている。

障害者雇用の理解を広げるため、保護者や企業の担当者を対象に見学を受け入れている。